News Release

2026 年 11 月 26 日
グロースエクスパートナーズ株式会社
株式会社アグレックス

GxP とアグレックス、「X-Analysis AI」の販売代理店契約を締結し、IBM i 基幹システムのモダナイゼーションを支援

～アプリケーションの解析結果を AI 駆動開発に活用し、開発・保守の高度化と段階的な刷新を促進～

グロースエクスパートナーズ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：渡邉　伸一）の子会社である株式会社 GxP（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：和田　一洋、以下：GxP）と TIS インテックグループの株式会社アグレックス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：柳井　城作、以下：アグレックス）は、カナダの Fresche Solutions が開発し、GxP が国内総販売代理店を務めるアプリケーション解析ツール「X-Analysis AI」の販売代理店契約を 2026 年 11 月 2 日に締結しました。

本契約締結により両社は、「X-Analysis AI」を IBM i を利用する企業に提供するとともに、「X-Analysis AI」が既存アプリケーションを解析して構築するリポジトリを、人による調査と AI を活用した開発・保守の共通基盤として活用します。さらに、アグレックスが培ってきた IBM i の運用・保守や開発の支援経験を組み合わせ、基幹システムの継続的な活用とモダナイゼーションを支援します。

■背景

近年、生成 AI の進展により、ソフトウェア開発の現場では AI を活用した開発支援が広がっています。AI 駆動開発ツールは、要件の整理やコードの説明、設計・実装案およびテスト案の作成などを支援するもので、開発・保守業務の効率化が期待されています。

一方、長年にわたり改修を重ねてきた IBM i の基幹システムでは、複雑化や属人化により、アプリケーション全体の構造や仕様の把握が難しい場合があります。AI 駆動開発ツールを有効に活用するためにも、個々のソースコードだけでなく、プログラム間の依存関係やデータの流れなど、既存システムの全体像や影響範囲を把握することの重要性が高まっています。

こうした課題に対応するには、既存アプリケーションを継続的に理解するための基盤を整え、その情報を人と AI の双方が活用できることが重要です。「X-Analysis AI」は、IBM i 上のプログラムやデータベース定義などのアプリケーション資産を解析し、それらの構造や依存関係などの情報をリポジトリとしてデータベース化します。蓄積された解析情報は、画面上での可視化や人による調査に利用できるほか、AI 駆動開発ツールとの連携にも活用できます。これにより、人と AI が共通の解析情報を基に、現行システムの理解や影響範囲の調査、開発・保守を進めることを支援します。

そこで両社は、「X-Analysis AI」による解析技術と、アグレックスが培ってきた IBM i の運用・保守から開発・モダナイゼーションまでの支援経験を組み合わせ、現行システムの理解から改修・段階的な刷新までを支援するため、「X-Analysis AI」の販売代理店契約を締結しました。

■本契約締結による提供価値

本契約締結により両社は、「X-Analysis AI」の提供およびその活用を通じて、IBM i の開発・

保守の高度化からモダナイゼーションまで、企業の課題に応じた一貫した支援を行います。主な提供価値は以下の通りです。

1. 人と AI が共通の解析基盤を活用し、開発・保守を高度化

「X-Analysis AI」は、IBM i 上のアプリケーション資産を解析し、プログラムやデータの構造、依存関係などの情報をリポジトリとしてデータベース化します。担当者は、この解析情報を画面上で確認しながら、現行システムの理解や変更時の影響調査を進めることができます。また、MCP※1 を介して対応する AI 駆動開発ツールと連携することで、AI も同じ解析情報を活用できるようになります。人と AI が共通の解析基盤を活用することにより、システム全体の構造や影響範囲をふまえた調査、設計、実装、テストを支援し、開発・保守業務の高度化につなげます。AI による調査や提案を人が解析情報に立ち返って確認することで、根拠に基づく開発・保守を支援します。

2. IBM i の保守・機能開発からモダナイゼーションまでの一貫した支援

アグレックスが培ってきた IBM i の運用・保守、開発、モダナイゼーションの支援経験を生かし、「X-Analysis AI」の解析結果を基に、企業の IBM i 環境や課題に応じた一貫した支援を行います。解析によって把握した既存システムの構造やプログラム間の関連性、影響範囲などの情報を、仕様確認・影響調査、既存の業務ルールをふまえた機能追加・改修に活用します。さらに、解析結果を基に刷新対象や優先順位を検討し、5250 画面※2 の Web 化や API 化、機能再構成などのモダナイゼーションにおける設計・開発にも反映することで、現状分析から開発・刷新までの一連のプロセスの効率化を図ります。

※1 Model Context Protocol の略。AI と外部のツールやデータを接続し、情報を連携するための共通規格。
※2 IBM i 環境で利用される文字ベースの画面インターフェース。

■今後について

GxP とアグレックスは、本契約締結を通じて、IBM i を利用する企業に対し、「X-Analysis AI」の普及と活用を推進します。

アグレックスは、企業による自社利用に向けた製品販売に加え、同製品を活用したシステム資産の可視化・解析サービスを展開し、2029 年末までの 3 年間で累計 30 社へのサービス提供を目指します。また、RPG で開発された既存プログラム資産の解析を通じて、システム構造の把握やブラックボックス化の解消、運用・保守の効率化を支援するとともに、既存資産の有効活用や段階的なモダナイゼーションにつながるサービスの拡充と技術者の育成を進めます。

GxP とアグレックスは、システム資産管理から運用・保守、システム変革までを支援するパートナーとして、企業の IT 資産価値の向上と持続的な事業成長に貢献します。

■株式会社 GxP　代表取締役社長　和田　一洋のコメント

このたび、IBM i の運用・保守、開発からモダナイゼーションまで豊富な支援実績を有するアグレックスさまと協業し、お客さまの IBM i システムのさらなる活用と進化をご支援できることを、大変意義深く感じています。

「X-Analysis AI」によるアプリケーション資産の可視化・解析と、アグレックスさまが培ってこられた IBM i に関する知見を生かすことで、企業が長年蓄積してきたシステム資産を有効に活用しながら、AI を活用した開発・保守の高度化や、将来を見据えたモダナイゼーションをより一層推進できるものと期待しています。

■株式会社アグレックス　代表取締役社長　柳井　城作のコメント

企業の基幹システムを取り巻く環境が大きく変化する中、長年にわたり蓄積されてきた IBM i のシステム資産を有効に活用しながら、将来を見据えて継続的に進化させていくことが重要であると考えています。

今回の GxP さまとの協業を通じて、「X-Analysis AI」の優れた解析技術と、当社が培ってきた IBM i の運用・保守、開発、モダナイゼーションに関する知見を生かし、お客さまのシステム資産への理解を深めるとともに、AI を活用した開発・保守の高度化や、将来を見据えた段階的なモダナイゼーションを支援してまいります。

■「X-Analysis AI」について

「X-Analysis AI」は、カナダの Fresche Solutions が開発し、株式会社 GxP が国内総販売代理店を務める、IBM i 向けのアプリケーション解析ツールです。プログラムやデータベースなどのアプリケーション資産を解析し、構造や依存関係などの情報をリポジトリとしてデータベース化します。蓄積された解析情報は、画面上での可視化や人による調査に加え、MCP 対応の AI 駆動開発ツールとの連携にも活用できます。

詳細は以下 URL をご参照ください。
https://x-analysis.jp/

株式会社 GxP について（https://www.gxp.co.jp/）

株式会社 GxP は、グロースエクスパートナーズグループの一員として、企業のエンタープライズ DX を支援しています。お客さまの課題や事業環境に寄り添い、システムの企画から開発、導入・運用、継続的な改善まで、一貫したサービスを提供しています。アジャイルなチーム開発、クラウド活用、UI/UX などの強みを生かすとともに、企業の DX やモダナイゼーションを支援するプロダクト・サービスを提供しています。IBM i 分野では、カナダの Fresche Solutions が開発する「X-Analysis AI」の国内総販売代理店として、製品の販売・導入・教育・保守を通じ、お客さまのアプリケーション資産の理解と活用を支援しています。

株式会社アグレックスについて（https://www.agrex.co.jp/）

アグレックスは、BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）、SS（ソフトウェアソリューション）、SI（システムインテグレーション）を柱とする総合情報サービス企業です。1965 年の創業以来、半世紀にわたり、大量のデータを抱える企業の煩雑な業務処理を一手に引き受ける独自のアウトソーシングビジネスを中心に事業を展開し、その後システム開発・運用へとその領域を拡大してきました。アグレックスは、業務処理と IT のノウハウを総合化・融合化し、お客さまに最適なソリューションを提供し続けます。

※ IBM、IBM i は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先
グロースエクスパートナーズ株式会社
広報担当
TEL：03-5990-5423　FAX：03-5990-5424　E-mail：pr@gxp.co.jp

株式会社アグレックス

コーポレート本部　経営企画部　酒井、井口
TEL：03-5371-1503　E-mail：agrex_info@agrex.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先
株式会社 GxP
モダナイゼーション部　阿野、吉村
E-mail：x-analysis-sales@gxp.co.jp

株式会社アグレックス
DX 事業部　DX 第 3 部　柳田、住中
E-mail：x-analysis-info@agrex.co.jp